

2 土砂災害に気をつけよう

危険箇所に指定された区域は台風や集中豪雨・地震によって被害を受けることが考えられます。地域で十分気をつけましょう。

また、土砂災害は、雨がやんでからも発生することがありますので、油断しないようにしましょう。



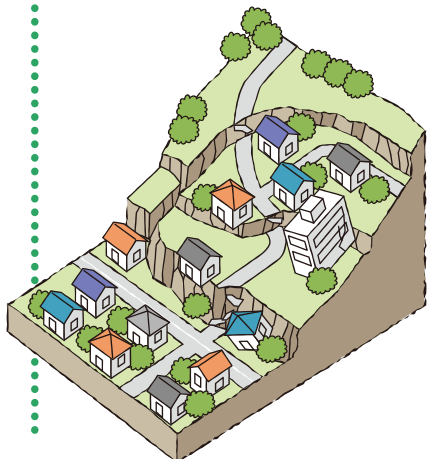
こんな土砂災害に注意しましょう

地すべり

粘土などのすべりやすい層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象。

〔前ぶれ〕

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したりする。
- 沢や井戸の水が濁る。
- がけや斜面から水が噴き出す。

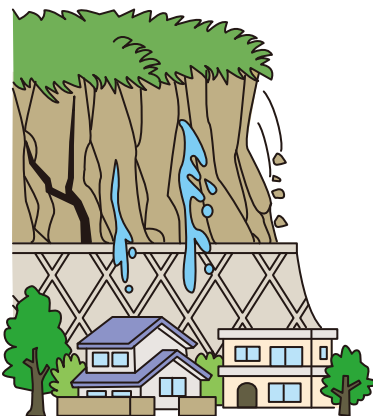


斜面崩壊

がけ崩れ、山崩れなどの現象。突発的かつ急速におこることが多いのが特徴。

〔前ぶれ〕

- 小石がバラバラと落ちてくる。
- がけから水が湧いてくる。
- がけにひび割れができる。

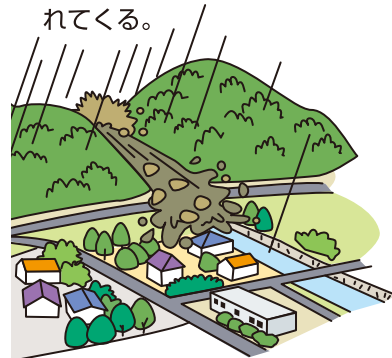


土石流

土石と水が一体となって流れ落ちる現象。昔から「山津波」とか「鉄砲水」といって恐れられています。

〔前ぶれ〕

- 山鳴りや木立の裂けるような音がしたり、異様な土の匂いがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水が急に減り始める。
- 川の水が濁ったり、流木が流れてくる。



梅雨や台風の時期には十分警戒を

長雨や大雨により地面に大量の水がしみ込み、弱くなった斜面が崩れるため、がけ崩れのほとんどは、梅雨や台風の時期に発生します。

一般的に、1時間に20ミリ以上、又は降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、がけ崩れの危険性が高くなります。梅雨や台風の時期には十分な警戒が必要です。



注意したい場所は？

扇状地

山間部の集中豪雨からの土石流に要注意。早めに避難の準備を。



造成地

地盤がゆるみ崩れる危険が。水抜き穴から濁り水が出始めたら要注意。



山岳地帯

集中豪雨や地震による山崩れに用心したい。特に木の少ない山間部は土石流に対する警戒が必要。



河川敷

昔、河川敷だったところや河川の流域は、洪水についての対策を万全に。

